

～^{おお}多くの^{なかま}仲間^{げんざい}とともに^か現在^{みらい}を変え^{そうぞう}未来を創造するために～ ^{ねん}**2026**^{がつ}**年1月**

KSKQ ファースト・ラン NO.121

～ために ではなく ともに～



箕面百景く勝尾寺・勝ちダルマ奉納棚
みのおひやつけい かつおじ か ほうのうだな

※HPではカラー版でご覧いただけます。

目次

もくじ

- ^{しんねん}新年の^{あいさつ}ご挨拶
- ^{おおさか}大阪・^{かんさいばんぱくほうこく}関西万博報告
- ^{けんしゅう}スイミー研修 & ^{しんぼくかい}親睦会
- ^{きじ}バリアフリー記事
- ^{ゆい}グループホーム結^{ほうこく}イベント報告・^{かいいんぼしゅう}会員募集

ファースト・ランは、^{でんしばん}電子版でも^{らん}ご覧いただけます ★<https://www.suisinkyo.net/first-run>



りじちょう うえだかずひろ
理事長 上田一裕

れいわ ねん しんねん あいさつ 令和 8（2026）年 新年の挨拶

2026 年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、大阪関西万博が開催され、オリパラのレガシーが引き継がれ、障害者にとっても優しい未来を見据えた画期的な工夫が凝らされていました。モニターツアー・スマホを利用した音声付きナビシステム・AI スーツケース等々、レガシーを受け継いだ大阪府福祉のまちづくり条例ガイドラインもこの春改定される見込みです。点から面、そして心のバリアフリー、小規模店舗・フラッシュライト・劇場におけるサイトラインの確保等、多くのガイドラインが盛り込まれているようです。特に、心のバリアフリーは、「ためにではなく、ともに」という推進協に通じる大きな要素の一つでもあります。1 日も早い具現化を望みます。

2025 年の推進協の主なトピックスを振り返りますと、管理者変更や新規職員の採用がありました。また各事業では、居宅は重度訪問介護従業者養成研修講座、ヘルパー研修交流会の実施。相談支援は新規相談依頼の増加。グループホームは親睦旅行を含め季節に合わせたイベントの実施がありました。

この 1 年は、とりわけ課題でありました、各部署の新規採用がありましたが、未だに十分ではありません。2026 年も引き続き採用活動を行いより良い福祉サービスの提供に努めます。推進協は、本年も地域でくらす障害当事者の尊厳を尊重し、障害者が当たり前に暮らせる社会を目指し「ためにではなく、ともに」を掲げて歩む所存です。本年も、昨年同様ご協力ご支援のほどをなにとぞよろしくお願い申し上げます。



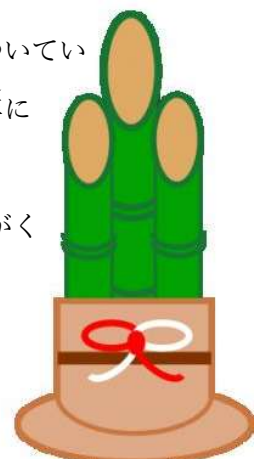
じむきょくちょう きくちこうじ
事務局 長 菊池康治

昨年は事務局 長に就任して、法人の基盤づくりを目標に進めてきました。しかし、毎日難儀なことばかりといった感じ。難儀なのは周囲なのか、はたまた自分の問題なのか。まずは自分自身を見つめなおして不甲斐なさに落ち込んで。そんな年ではありました。

2026 年は丙午。丙午は「活発年になる」と言われています。基盤作りは追いついていませんが、転んで起き上がってを幾度と繰り返した年から抜け出し、当法人も活発な年にしていきたい所存です。

会員の皆様、利用者の皆様、関係機関の皆様には、不器用な事務局 長を筆頭に아가く事務局の姿を温かく見守っていただけたらありがたく存じます。時には叱咤激励も！

それでは本年もよろしく願い申し上げます。



2025年度スイミー研修会とヘルパー親睦会を開催しました

9月25日(木)に居宅介護支援事業所スイミーの研修として、ささゆり園で虐待防止研修会およびヘルパー親睦会を行いました。久しぶりに、動画ではなく対面での研修会、またヘルパーさんからの要望が多かった親睦会を開催することができ、充実した時間を過ごすことができました。

参加者としては、ヘルパー31名、専従・臨時職員11名、理事長が出席し、講師に社会福祉法人ぽぽんがぽん水野昌和氏を招い

て、「虐待防止と身体拘束適正化について」とともに考える」と題して、研修会を行いました。

水野講師からは、支援の中では議論的アプローチになりがちで、対話的アプローチの重要性や自分の価値観を押し付けていないかなど、事例をあげてわかりやすく説明してくださり、利用者さんと、どのように対話し支援をより良いものにしていくかを考えさせられる講義でした。

私個人の感想としては、「どっこいしょ!」と言っても虐待につながることを驚きと、ちょっとしたことが身体拘束になるという事や、あたりまえの事ですが、一人の人間としての尊厳を守る事は、常に頭において支援していくことが大切だと、改めて思いました。

参加したヘルパーさんからは、思い込みで支援しないよう気をつけたい、相手の方を理解し共感し、関係性を大切にしていきたい。共に考え対話していきたい。などの意見がかけられました。

また、研修後の親睦会におきましては、全員に自己紹介をしていただき、「小田茂信の店」のお弁当(美味しいと好評でした!)と飲み物、お菓子を用意

して、交流を図りました。ヘルパーさんからは、普段は交流の機会がないので、いろんな方とお話できて良かったと好評で、和やかに、楽しい時間を過ごしました。

最後に、今回ヘルパー研修と交流会を開催できて、とても良い時間を過ごすことができました。ヘルパーさんや職員のスキル向上や交流を深めることができ、充実

した内容でした。今後も、こうした機会を大切にしていきたいと思いました。

(影山 由美子)



大阪・関西万博とは何だったのか

「大阪・関西万博」終える

大阪湾の人工島「夢洲」において、大阪・関西万博は2025年4月14日に開幕し、同年10月13日に閉幕しました。前売り券が予定どおり売れず必死に売り込んでいたが、結果は延べ2550万人(当初の想定は2820万人)が訪れ、最大280億円の黒字が見込まれるとの事で吉村知事も「合格点だと思う」と述べました。世界各国と日本のパビリオンでは、連日華々しく多様で多彩なイベントや講演、花火等が行われ、医療や福祉、障害者等をテーマとしたイベント、日本の伝統芸能の披露や国際交流なども活発にされました。万博の目玉は何といっても壮大な大屋根円形リングです。木造建築物としては世界一と言われる造形物で多くの方が歩かれたでしょう。

私が行った場所と感じたこと

酷暑が続く8月上旬に2度行く機会があり、1回目は朝9時から三菱未来館～周回バスで西ゲート～大屋根リング歩く～ commons 館～フランス館～ドイツ館のレストランに入り食事を終え、午後4時前に帰りました。2回目は大阪府の福祉のまちづくり審議会委員として条例に活かすため、午後からヘルスケア



パビリオンとシャインハット (エキスポホール) のバリアフリーチェックを夕方まで行い帰りました。2回とも夜まで残るつもりでしたが、暑さと疲れで夕方に帰ることにしました。私を感じた事は、幾つかのパビリオン等へ行きましたが、外も中も人、人、人と大混雑であり見る事ができませんでした。外は強い日差しでゆっくりと休む場所もなく異常な真夏の暑さで危険を感じ、「障害者や高齢者、子供など体力のない人は耐える事ができるのか。」と思いました。



一方、楽しかった！素晴らしかった！感激した！との声も多く聞かれ、参加された方の8割以上の方が「良かった」と万博協会のアンケート結果が出ています。

違う視点からも見る必要がある

他方、私は、大阪・関西万博について、違う視点からも見る必要があると思います。

万博の理念とは、人類の進歩や展望を示す公衆教育の場であり地球規模の問題に目を向ける場ではなかったのではないのでしょうか。今、世界では貧困と飢餓、紛争と分断が続き、自国中心主義が広がるなか、今回の大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」が開かれました。

しかし、開幕前のメタンガス爆発と危険性。無許可工事や給与未払い、工事下請け業者への代金未払い等由々しき問題が発生しています。そして収益を目的とした I R 開発と一体化した万博は「いのち輝く未来社会」と相いれないのではないのでしょうか。直木賞作家の万城目学氏は、「いのち輝く未来社会のデザイン」へと変わったが何も伝わらない。ただの建前」と述べています。

交通アクセスでは、通じる橋が一つしかない弱さと危うさ。8月に大阪メトロが止まり、3万人が帰宅困難となり38件が救急搬送される事態となった。災害時の対策が極めて不十分。

運営面でも、「並ばない万博」と掲げていたが入場ゲートは長蛇の列。予約サイトも中々アクセスできず、チケットを所有していても予約できなく使えない。

安全・環境面でも、開幕前のメタンガス爆発と危険性、貴重な渡り鳥のすみかを破壊して造った会場では、環境サイクル破壊で羽虫ユスリカの大量発生、ウォータプラザでのレジオネラ菌属の検出と公表の遅れ、津波注意報周知の遅れ、花火で負傷報告の遅れ、安全を半ば無視した小中学校の無料招待事業、熱中症等による多数の搬送。等々、安全・環境面の軽視が目立ちます。

費用の面も、当初の会場建設費1250億円から2度の増額で2350億円に膨らんでいる。最大280億円の黒字と言うが、この収支には本来協会が支出すべき警備費255億円や途上国出店支援240億円は国費負担へ切り離されています。ほかにも会場建設費2350億円(国、府市、経済界)、日本館建設等費360億円、そして何よりも多いのがインフラ整備で8520億円等がかかっています。これらは全て税金で賄われます。黒字とは名ばかりです。



何故、夢洲を万博会場としたのでしょうか。

それはカジノを含む総合型リゾート（I R）建設のためだと言わざるを得ません。万博

会場の北隣では工事が進められています。本来、I R 事業者が整備すべきインフラ整備等を万博の名目により約1兆円もの税金が投資されていることを忘れてはならないと思います。

また、万博後の跡地には万博のレガシー（遺産）と関係のないサーキット場等が提案されています。

素晴らしい万博だった。良かった。感動した。と喜んで良いのかというのが率直な思いです。

今後、政府の有識者会議で万博の成果を検証されるとの事。その結果を注視したい。

推進協のヘルパー利用者：箕面市身体障害者福祉会 会長 羽藤 隆 2025.10.20

～ 車いすで電車の乗り方が変わるんじゃないかというはなし ～

コロナ禍が落ち着きはじめた冬の夕暮れ。いつものように電車に乗ろうと阪急牧落駅の窓口に行くと閉まっていた。駅係員よびだしインターホンで行き先と電動車いすで乗りたいことを話しても、言語障害があり伝わるまで数回繰り返すことになる。「2 駅向こうの駅員を手配します。ホームの一番前でお待ちください。」もうあたりは薄暗く冷たい風吹くホーム。待っている間、電車が2本到着し目の前で扉が開くのに乗れないのが相まってモヤモヤが膨らんでいく。一方、別の駅からスロープを持ってきてくださるし、駅員さんが駅員不在時間を決めたわけではないと思うも「この気持ちをどこにぶつけたらいいんやっ!!」とモヤモヤがさらに膨らんでいく。

月日は流れ今年の春。阪急電鉄で電車での移動時サポートを事前予約できるサービス『PA パッセンジャー』が始まる。同じ時期に、JR 西日本では車いす利用者が乗り降りできるよう、駅のホームと電車との段差・隙間を自動で小さくする『可動式スロープ』の試験導入されていた。というわけで、今回のミッションはちょっとした鉄道の旅。阪急桜井駅から『PA パッセンジャー』を利用して、JR 新大阪駅に『可動式スロープ』を見に行く。裏ミッションとして『桜井駅の駅員不在時間に電車に乗る』も遂行する。

『PA パッセンジャー』はイギリスで開発された鉄道サポートシステムで、阪急電車だけで利用できる(2025年10月現在)。予約はウェブサイトで①アカウント登録後②乗車駅、降車駅、乗車日時を入力③経路と必要なサポートを選択。送信するとリクエスト受付メールが届き、その後の確定メールで予約完了する。がっ! その予約確定メールが届かない。駅員不在時間の桜井駅に到着してもまだ届かず。もしや乗れないのか??と乗車時間が迫ったころ、

駅員さんがスロープを持って電車から降りてきてくださった。予約確定メールが届かないことはわからないご様子だったが、桜井駅の駅員不在時間は石橋阪大前駅でリクエスト確認と駅員を派遣し、何かあったときは駅係員よびだしインターホンで尋ねてくださいとのことだった。その後、大阪梅田駅に着くと予約した通りスロープをもたせてきてくださっていた。



ハラハラして電車を待ち、ホッとして電車に乗った。これから『PA パッセンジャー』を利用することにワクワクもした。

の か じえいあーるしんおおさかえき かどうしき しんおおさかえき さくらじまえき しけんどうにゆう かんさいばんぽかいさいき かん
乗り換えて J R 新大阪駅へ。『可動式スロープ』は新大阪駅と桜島駅で試験導入され、関西万博開催期間に
うんてん りんじれつしゃ の りよう でんしゃ どうちやく いちぶぶん た あ
運転されていた臨時列車エキスポライナーに乗ると利用できた。電車が到着するとホームの一部分が立ち上がり、
じどう じようこう いち あ の だんさ すきま う じようこう し じどう もと いち しゅうのう
自動で乗降ドア位置に合わせて伸びだし段差・隙間を埋める。乗降ドアが閉まるとまた自動で元の位置に収納され



る。また、安全に使えるようスロープ部分は滑りにくい素材で、隙間
つえ はさ ふせ でんじよう ひと たんち
に杖など挟まるのを防ぐセンサーがある。天井からは人を探知す
てんとうぼうし いちじていし うご あぶ おおさかべん
ると、転倒防止のため一時停止させ「動くから危ないでー」と大阪弁
でないけどアナウンスが流れる。これはもうスロープではなく動くプ
ラットフォーム！車いすはもちろん、ベビーカー、高齢の人…書き
き さまざま ひと の お いちもくりようぜん
切れないほどの様々な人が乗り降りしやすくなるのは一目瞭然。
せんろ なに お へ わたし で
線路に何かを落とすことも減るのではなかろうか。私が出かけや
すくなると、たくさんの人もさらにそうなるかもしれないと思うことが
ある。今回は本当にそうなると思った。

てんじよう てんとうぼうし
天井のセンサーで転倒防止をする

ふと気づいたのだが、どちらの企業も目指す目的が
きょうつう びーえー かどうしき
共通している。『PA パッセンジャー』も『可動式ス
ロープ』も単なるバリアフリー化ではない。一歩先をみ
て、すべての人が安全で安心できることを出発点
にして開発されたのでは？



やじるしほうこう た
矢印方向に立ちあがってスロープになる

もんだい たいへん お ひと しあわ おも げんてん よ ほうこう む つづ
問題や大変なことが起きたとしても、人を 幸 せにしたい願いが原点にあれば、より良い方向に向かい続けられるの
ではないだろうか。…と思い浮かぶままに想像していると、つくる側の願いが実現したものを受け取った気持ちがし
て心が静かにあたたかくなった。

たかい けいこ
(高井 恵子)

～ 令和 7 年度 親睦旅行 ～

10月25日(土)、今年も恒例の親睦旅行へ行ってきました。行き先は、『道の駅 神戸フルーツフラワーパーク大沢』、参加は入居者 11 名、サポーター 8 名の 19 名。当日はあいにくの曇天模様でしたが、ひとまず集合写真を撮ってから入園。園内はイルミネーションが飾られており、大阪・関西万博のミャクミャクの 3D 人形やハートのトンネルなどの前で撮影をしつつ、昼食会場のレストランに。昼食のブッフェには、お値段変わらずカニの食べ放題が付いていたので、食事を取りに行くよりも、カニの殻剥き支援ばかりのサ



ポーターや、サポーターよりも綺麗にカニを剥く入居者もあり、予定よりも楽しい食事となりました。神戸モンキーズ劇場に観劇へ行くと、なんと手話をするおさるさんの出演。竹馬やハードルの飛び越えなどをする合間の掛け声に応じて、手を胸に当て「わかった」、手を左胸から右胸に「できる」の返事などがあり、ぜひ色々な方に観てもらいたいパフォーマンスショーでした。

団体入館の特典で、おさるさんとの記念撮影をさせてもらったのち、次の予定のリンゴ狩りへ。お昼にお腹いっぱい食べましたが、デザートとなると別腹で、リンゴを取って、剥いて、食べる、取って、剥いて、食べる・・・と、何個か食べて、持ち帰り用のリンゴを持って、ひとまず決めていた予定は終了。出発時間まで自由行動となり一度解散してから、すぐ近くのゴーカートで全員集合(笑)。組み合わせは、サポーター&入居者が 4 組、入居者&入居者が



1 組。入居者同士で?! と不安に思う人もいるかと思いますが、まあ何事も経験。ゴーカートは安全装置もあり、施設スタッフもいて問題なく止まれる乗り物なので、多少暴走しても大丈夫! と笑顔で見送りましたが、想定通りに髪型はオールバックで帰還。乗っていた入居者二人も周りのサポーター

一も大爆笑でした。と、ひと通り遊び尽くしたところで雨天になり、全員がバスへ避難。1 時間ほど早く切り上げて、今年の親睦旅行が終了しました。



ちなみにですが、この『大沢』との地名ですが、ルビが間違っていると思いませんか? 初見で読めた人はいるのでしょうか? 『おおさわ』と思った人が大半なんじゃあないかな、と思っています。もちろん、私も間違って読んでしまったひとりです。(笑)



さて、来年度の旅行も雨天を想定しながら、どこに行こう
か悩めます。普段の生活ではあまり体験しなかったり、
食事に多少の制限がある中で、親睦旅行中は自由に食べ、
遊び、楽しめる時間を作りたいと考えています。一昨年は
京都、去年は滋賀、今年は兵庫、と来れば来年は奈良？
和歌山？三重？う～ん、悩む時間も楽しいです。

まあ、入居者が楽しむ姿を見られるのであれば、どこに行っても楽しいですね。

(太古 自然)



かいいんぼしゅう 会員募集

推進協は、今後も障害のある方々にとって暮らしやすい社会づくりに向けた活動を
つづけていきます。

そんな法人の理念、活動方針にご賛同いただける方を引き続き募集いたします。

年会費

団体会員	: 1 口	10,000 円
個人正会員	: 1 口	2,000 円
個人賛助会員	: 1 口	1,000 円

■お問い合わせは(072)723-3342 (担当:宮崎)

わたし ちいき かつどう
★ 私たちは地域でこんな活動をしています★

きょたくかいごとうじぎょう
居宅介護等事業 (スイミー)



ちいき く
地域で暮らす
しょうがい かの
障害のある方に
ざいたくしえん
在宅支援や
ガイドしえん
支援を
おこな
行っています。

そうだんしえんじぎょう
相談支援事業 (ミント)



せいかつ なか
生活の中でのさまざま
こま
な困りごとについて
はなし うかが
てお話を伺い、
ひつよう じょうほう かつ
必要な情報をお伝
えしていきます。

きょうどうせいかつえんじょじぎょう ゆい
共同生活援助事業 (結)



じしゅせい たいせつ
自主性を大切に、
さまざま てだす
様々な手助けを
おこな ちいき
行いながら地域
せいかつ しえん
生活を支援してい
ます。

た じぎょう
その他の事業



ほか たいがいてきこうほうし
他、対外的広報誌の
かんこうじぎょう
刊行事業、ヘルパー
けんしゅうじぎょう おこな
研修事業などを行
っています。
きゅうしちゅう じぎょう
※休止中の事業も
あります。

■法人案内■ ご相談、ご依頼は下記事務所へお問い合わせください。

●法人本部

実施事業: 居宅・重度訪問・移動支援・同行援護のヘルパー派遣事業・相談支援事業・共同生活援助事業

〒562-0001 大阪府箕面市箕面4丁目8番30号

【居宅・重度・同行・移動・G H】TEL: (072) 723-3342 FAX: (072) 723-6506 Email: JDW07270@nifty.com

【相談】TEL: (072) 720-6806 FAX: (072) 723-6506 Email: life-time-mint@mbr.nifty.com

公式 H P : <https://www.suisinkyo.net>

【編集後記】

今年度、法人内部の管理者や担当について人事異動を行い、長年携わった菊池が担当から外れ、新体制で進めてきました。通信事業として少し変化があり、箕面市内外問わず障害当事者の目線によるバリアフリーや関西万博について発信することができました。掲載記事に携わっていただきました皆さまには、改めてこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。今後とも色々発信していければと考えていますので、ご協力いただけますと幸いです。来年度の推進協もよろしく願いいたします。

(太古 自然)

編集人／特定非営利活動法人 箕面市障害者の生活と労働推進協議会

〒562-0001 大阪府箕面市箕面4丁目8番30号 電話072-723-3342 FAX072-723-6506 (担当: 太古・影山・福永)

E-mail: JDW07270@nifty.com 郵便振替: 00990-4-116066 公式 H P : <https://www.suisinkyo.net>

発行人／関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル 4階

一九九一年九月三日

第三種郵便物承認

毎月

(1・2・3・5・6・8の日)

発行

定価 百円